

八上校区まちづくり協議会広報誌

やかみ高城

第十号

発行日：平成25年6月20日
発行者：八上校区まちづくり協議会
人口：2,293名(888世帯)
男1,106名 女1,187名
(平成25年5月末現在)

愛をはぐくむ、豊かなまちづくり

八上校区まちづくり協議会
会長 池田 正男



梅雨の候、八上校区の皆さまにおかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、八上校区の諸活動に、格別のご高配を賜り厚く感謝いたします。

4月29日(月)八上校区まちづくり協議会(以下まち協と略)、平成25年度定期総会を開催しました。議題である平成24年度活動報告、一般会計収支決算他、及び平成25年度活動計画、一般会計他の予算が承認されました。また、新役員には、下記の皆さまが選出されました。役員一同、ご指導、ご鞭撻、そしてご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、まち協は、「より豊かで活気と潤いに満ちた地域を創造する」という趣旨に沿い、「三つの愛」を、活動指針として掲げ、まちづくりを進めています。具体的には、
一、歴史・文化・自然に接し、郷土を愛する人づくり。
一、人との出会い、語らいを愛する場づくり。
一、社会的弱者を愛する活動。
この方針に基づき、平成24年度は、

- ③福祉部
 - ・敬老会(9月16日(月・祝))
 - ・「認知症」講座
 - ・社会的弱者を愛するまちづくり(仮称)計画策定
- ④コミュニティ部
 - ・文化祭(11月16日(土)・17日(日))
 - ・三世代交流事業「しめ縄づくり」(12月15日(日))
 - ・広報誌『やかみ高城』発行年4回(6・9・1・3月)
 - ・ホームページ『やかみ高城』
- ⑤体育部
 - ・親睦運動会(10月6日(日))
 - ・三世代グランドゴルフ(7月28日(日))
 - ・高城山(丹波富士)登山
- ⑥生活環境部
 - ・青パト隊による防犯パトロール
 - ・防犯講座(6月8日(土))
 - ・安全・安心のまちづくり(仮称)計画策定と実践

次に、役員交代があり、新役員、新部長を紹介します。
※(太字は新役員)

役員紹介	
●会長	池田 正男 (港)
●副会長	波多野 元治 (八上下)
●事務局	坂本 博幸 (殿町)
●監事	志儀 勝己 (西八上)
●部長	堀毛 貞一 (池上) ……企画部
●部長	松本 登喜雄 (小多田三) ……地域おこし部
●部長	新家 英生 (小多田二) ……福祉部
●部長	梶村 文敏 (渋谷) ……コミュニティ部
●部長	地主 力 (糯ヶ坪) ……体育部
●部長	田中 忠司 (渋谷) ……生活環境部

本年度新役員紹介



事務局長 松上 博幸
 会計 坂本 雅美
 監事 志儀 勝己
 監事 小島 由広
 企画部 堀毛 貞一
 地域おこし部長 松本 登喜雄
 福祉部長 新家 英生

八上校区人権・同和教育研究会

「正しき道しるべ」
企画部長 堀毛 貞一

平成25年1月20日(日)八上校区人権・同和教育研究会が高城会館において、専浄寺(多可郡多可町)住職の盛田義宣氏を講師としてお迎えし「正しき道しるべ」を演題とした講演をいただきました。このたびの講演は、人権・同和教育の基本で

ある「人間としての正しき考え行動等」について、穏やかに楽しく説得力ある講演をしていただきました。最初に、差別は利害関係により生まれ、動物は常に競い合うものであることから、この問題は避けては通れないものである。そこで「供給資養」等仏語を用いて、皆が見習うような資質(善行)を常に養っておく必要があることを、実際にあった大変親孝行な娘を例にお話をさせていただきました。

また、年代別にみる「人間のあり方・生き方」(0歳から100歳)について次の通り話されました。まず、0歳〜15歳は親等からのきちんとした教育(盆栽を例に驥を説明)が大変重要であり、子供が問題を起こした際には、何故その様なことをしたのか等疑問文で叱るのはダメで、やっつけはいけないことを命令形で指導(ルールを教える)するのが重要であると説明され、私どもは深く考えさせられました。50歳以降は老齢期に入るが、充実した人生が必要で、それには「食、

◆◆◆自治会だより◆◆◆

人のふれあいを大切に
自治会だより
渋谷自治会長 梶村 元秀

渋谷自治会は、糯ヶ坪自治会の北東、京町自治会の東、八上下自治会の西北に位置し、田畑に囲まれた集落です。
延宝元年(1673年)、波多野(守護代)氏の家来、渋谷久次善左衛門が八上下村より独立し河原の開拓をすすめ、野間の1部を含み善左衛門嶋として村を形成しました。その後、大正時代になった頃に渋谷と呼称する様になったそうです。
現在は、住宅が20戸、新興住宅5戸を合わせた25戸、約60名の住民からなります。その20戸が農業とお寺(法誓寺)を中心に生活しています。
年間行事は農業用水路の清掃から始まり、永代供養(法要と寺の

動、笑」の3原則が大変重要である。また、70歳以降を「余生」と言われているが、この文字は適切ではなく、「与生」すなわち「与えられた生」と解釈するのが相当であるとのお話がありました。
その他にもいろいろと「正しき道」について教えていただきましたが、講演当日は、「なるほどなあ、そのように考え行動しよう」と認識しませんが、その意識がいつまで続くかが問題であり、これが私たちに与えられた課題であると思いつながら拝聴いたしました。



盛田義宣氏による講演



渋谷公民館



法誓寺